



館報

おがだ

やあ今日は！
明るいあいさつ楽しい仲間

町内文化祭

松岡 10/25 岡田町・塩倉・神沢 11/1 伊深・山浦・東区 11/3



未来の書道家発掘

今年、子どもたちの展示を2階から1階にしました。子どもたちの流れが変わり、とても良いと好評でした。児童作品に町会役員の賞を24賞付けました。今後の創作の励みになるといいですね。

今年も岡田7町会で、子どもからお年寄りまで参加して、賑やかに文化祭が開かれました。町会の皆さんの意外な才能を各地域の公民館がそれぞれ工夫を凝らして披露参加者は目だけでなく、舌でも文化祭を楽しんだようです。

秋晴れの広場にて老若男女の混成チームでゲートボールを楽しみました。お昼は沢山のきのこ入り豚汁とホタテの炊込みご飯、ごま塩むすびが用意され、終始和やかに楽しいひと時を送りました。



伊深

ずらりと並んだ力作を堪能



東区

華やかな展示

見事な盆栽や菊に誘われ展示室に入ると、壁一面の絵に圧倒されます。町内の殆どの子ども達が出展しました。日々の精進と愛着に溢れる作品の数々に感嘆し、恒例のおでんを楽しむ人々の姿が絶えない一日でした。



岡田町

喫茶スペースオープン

今年初めての試みで地元野菜の販売と、喫茶スペースを設置しました。お菓子、果物、おでんなどが振舞われ、コーヒーやお茶を飲みながら、皆さん会話がはずんで大好評でした。



塩倉

大木の伐採の写真を見る人達

手芸品、生花、写真、農作物や、ツリークライミングキット(木登り道具)、大徳利、ヒスイ、ちよっと珍しい石器等が出品されました。また、手作りケーキも振る舞われました。

今年例年以上に沢山の皆様のご協力をいただきました。展示をすることができました。また、お客様が沢山いらっしゃる時間帯にビンゴゲームをして、大盛況でした。



山浦

これはすごい!!

新たな企画で、神沢そば会の皆さんによる、60食限定、手打ちそばの試食会を行いました。来場した皆さんは、展示作品を鑑賞後、新そばを堪能。口々に「おいしかったよ。」という声が聞かれました。



神沢

新そばを堪能

人物登場

本職は何でしょう!?

山浦 大池 正泰 さん

「大物狙い」で、新潟からフェリーで行く北海道のエゾ鹿猟は大変おもしろいそうです。昨年は文化祭にてそれらの獲物が展示され、特に目を引いていました。

他にも海釣り・川釣り・山菜きのこ採りと、何でもやりますが、「人はおれのことをキノコ名人と呼ぶよ」とのこと。

今回は山浦公民館長、大池正泰さんの登場です。1年を通して多忙な家業の上、平成26・27年度の2年間、館長の大役をお務めいただいておりますが、館長は「どちらが本業か」と思わせる趣味を数多くお持ちであります。

その一つが狩猟です。お父様もやっていたこともあり「狩猟一家」だそうで、会社勤めをしていた20歳のころから自然にやるようになったそうです。県の有害鳥獣駆除の許可をお持ちで、一年中週末には社会貢献と趣味を兼ねてその腕前を発揮されています。そのほか、11月15日から翌年2月15日までのシーズン中は、グループ30余人の仲間とともに、鹿・猪・熊を追っています。自他共に認める



(聞き手 赤羽晃)

「ゆっくりできるのは正月くらい」とのこと。

最後に「おれの本業は野菜農家だが、本職はアイサイカ(愛妻家)だよ」と笑っていました。

親子なぞときウォークラリーで 岡田を踏破! 岡田地区子ども会育成会

おかだちくめぐりあるいて あきをみる

子どもたちの体力増進とともに、先人達の言い伝えを学び、故郷をこよなく愛する人になっ

野山の紅葉や柿が朱色に輝く小春日の中、9チーム38名の親



る舞われ、何杯もおかわりする逞しい子も大勢いました。ボランティアとして参加した信州大学生達ともすつかり仲良しになり、「俳句が難しかった」「うどんはとてもおいしい」「来年も参加するよ」と話が弾みました。

生活雑記

小さな命

神沢 A・K

農繁期に入った5月半ば、我が家の桃畑の隅の物陰で、どこかの三毛猫が2匹の子猫を産み行方不明になった。今にも力尽きそうな2匹を動物病院へ連れて行き助けを求めた。そして、幸運にも息を吹き返した1匹の小さな命を繋ぐ役目を、私と家族が担うことになった。

の前に子猫を置いていく人が後を絶たないと嘆いていた。あまりの多さに、全ての命を繋いであげることができないとも。

生後1カ月になると、すつ

ある日、里親から「家族皆がその可愛さに癒されていきます」というメッセージと、まったりとくつろぐ成長したミーコの写真が届いた。私の心もまた、温かくなるのを感じた。

4カ月が過ぎた。里親が見つかり我が家の役目は終わった。